

【山崎主宰の俳句】

どこをどう

山崎 聰

かの山をいまも敬い十二月
神域のそぞろに寒く罪と罰
飛んでゆく光ひとすじ去年今年
やや青い羽毛のように年明ける
人に倦みたる人ばかりお正月
ごまめ数の子やや湿っぽいつちくれ
初あかり浩一節子文子澄
年改まるどこをどう曲ろうか
大寒波もとより誰のせいでもなく
多喜二忌の前夜耿耿波の上